

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.20) 2008.8.30

もくじ

1. 6月度 定期ボランティア活動・報告
＜利用者説明会・郷台林道整備作業＞
2. 7月度(1) 臨時ボランティア活動・報告
＜麻綿原のアジサイを見よう＞
3. 7月度(2) 定期ボランティア活動・報告
＜高校生のための森と海のゼミナールサポート＞
4. 8月度(1) 定期ボランティア活動・報告
＜夏の森林教室サポート＞
5. 情報・その他
6. 10月度 定期ボランティア活動・募集案内
＜お月見研修＞

6 月度 定期ボランティア活動・報告

～利用者説明会・郷台林道整備作業～

1. 第13回千葉演習林利用者説明会

ボランティア 石川 輝雄

6月18日(水)に行われ、岩崎、中原、米倉さんと石川(輝)(れい)の5名が聴講参加しました。

5月に行われた造林研修会は千葉演習林の職員の研究・業務の発表会ですが、今回の利用者説明会は千葉演習林を研究・その他の場として使われている方々全員の発表の場です。千葉演習林をどのような方々がどこでどのような研究をされているか全体を把握できる貴重な会です。発表者は東京大学の職員だけでなく、他の大学や研究部門の方々と多岐にわたり、内容も本来の森や植物以外に魚や昆虫、地質関係など豊富です。

当 Abies の活動の状況について岩崎会長が発表しました。夜は懇親会があり、互いに情報交換をして楽しく有意義にすごしました。



2. 郷台林道 整備作業

ボランティア 恵 京子

6月19日(木)は利用者説明会に参加して宿泊していた石川(輝)(れい) 中原さんの3名に加えて、当日参加の土橋さんと恵の計5名で郷台林道の整備作業を行いました。

当日は雨が予報されていたものの、帰路パラパラと降っただけで、曇り空の涼しい風が吹く絶好の作業日和でした。

朝9時に清澄作業所を職員の才木さん運転の演習林のワゴン車に作業に使うスコップ、くわ、熊手などを積み込み、「関東ふれあいの道」の一部にもなっている郷台林道を郷台作業所へ向かいました。今回の作業は郷台作業所から元清澄山への分岐点にあるゲートまでを予定しています。この場所はコンクリート舗装がさ



れてはいますが両側には落ち葉が積もり道幅を狭くしていて、車を寄せるとタイヤが隠れている溝に落ちたり、滑ったりする危険があります。作業はスコップやくわで、この土砂、落石などを片付けた後に落ち葉を熊手で寄せていきます。特にこのコースは坂道やカーブが多く、たくさんの落ち葉と泥が積もっています。昼食をはさみ、再び作業を続けて午後4時前に予定区間の作業はすべて終了しました。このような作業は、安全に車で林内を移動するために必要なことなのですが、手が足りなくてつい後回しになってしまうとの話を才木さんから聞き、手伝いできてよかったと思いました。



ヒメバライチゴの実

郷台林道では、初夏に葉の先が白くなるマタタビの花が咲き、ドクダミの白い花、イボタノキの花が見られ、ヒメバライチゴの実がたくさんありました。この実は甘くて休憩時のデザートです。他にも咲き始めたケイワタバコ、ミヤマトベラの蕾が確認でき、自宅の庭のバラと同じくテリハノイバラは花が終わり、元気なシュートが伸びていました。行き帰りの道路の清澄・奥養老ラインの道路には、ヤマボウシが真っ白な花が目立つ花をたくさんつけていました。

清々しくて、気分の良い一日を過ごしてきました。作業に参加されたみなさん、お疲れ様でした。

私の Abies 活動は、アレルギーのため、ハチの活動期に当たる10月半ばまでは残念ながら休止です。ハチのいない時期になったらまた頑張ります。よろしくお祈いします。

7月度(1) 臨時ボランティア活動・報告

～麻綿原のアジサイを見よう～

ボランティア 刈込 鋭子

7月12日(土)のAbies活動に参加しました。今回の参加者は石川(輝)、土橋、片岡、米倉、中原、岩崎夫婦、川浪夫婦と刈込の10名です。

私はAbiesに入会して今回が初めての参加で集合場所の千葉演習林清澄作業所の駐車場がわからなくて、道路でなやんでいたら事務局の石川さんが出てきて案内してくれ、無事時間前に集合できました。

集合時間の9時の15分前には全員が揃い、出発前に千葉演習林の林相図を囲みながら事務局の石川さんから千葉演習林全般と今日歩く場所の説明を受けました。林相図は地図

として演習林の地名、区分、施設、林道、歩道などの位置がのっているだけでなく、実際に生えている樹木の種類や樹齢までわかるすぐれものです。

清澄作業所の周囲も見本林になっていて珍しい木があるのでまず敷地内から、植物の観察をはじめて、次に清澄寺に向かって歩きだしました。

今回は時間が十分あるので、清澄寺の境内をゆっくりと散策することとし、先ず向いの売店右側の山道へ入り、清澄八山の一つである「露地山」に登りました。頂上には天富神社が祀られていて、今回はうっすらとしか見えませんでした。鴨川市街と海が見えて素晴らしい展望場所でした。反対側に少し下って、途中のあずま屋の先から見下ろす「千年杉」もいつも見る場所の姿と違って趣があります。

さらに先に進み、日蓮上人の大きな銅像が東の海に向かって立っている「旭が森」に出ました。



見下ろした千年杉

ここは日本内地で一番早く初日が見られる場所として有名で、元旦の初日の出を見る人で賑わう所です。

戻ってお寺の「大堂」前を通り、脇に廻ると池の縁の樹にしぼみかかった風船のようなモリアオガエルの卵の殻がぶらさがっていました。もう、みんな孵ってしまったのか卵も親の蛙も見えないのでちょっとガッカリしました。岩崎さんが落ちていたイワタバコやユキノシタの花をルーペで拡大して見せて



ユキノシタ

くれましたが、まるでイワタバコの花はピロードのようでした。

清澄寺を後にして、ゲートの横を抜けて、いよいよ麻綿原に向かう林道へ入りました。この林道は「関東ふれあいの道」にもなっていて一杯水林道と呼ばれています。

クサアジサイなどきれいな花が咲いていましたが足元のヤマビルも気になります。でも天気が良く乾燥しているせいか姿が見えません。途中、ツチアケビの茶色の花を見つけて写真を撮っていた場所もヤマビルが潜んでいそうな落ち葉の上でした。

途中、左に分岐している菖蒲沢林道に入り、Abies が菖蒲の復元作業に取り掛かっているという話を聞きました。現在はニホンシカの食害で菖蒲はすっかりなくなっています。近くにはニホンジカかイノシシを獲るためらしい檻が設置されていました。

道の縁の木に巻きついているツタウルシの写真を撮り終わり足元を見ると、ヤマビルがピョコピョコ顔を出していました。見ただけでの背筋がゾーとしたのに岩崎さんはヤマビルを手に這わせていました。すぐには血をすわないようで、ヒル除けのヤマビルファイターの効き目を試そうとかけてみるとヤマビルの動きが止まりました、効きそうです。



手の上のヤマビル

元に戻り、一杯水林道の終点ゲートのある車道へ出ようとしているところへ、後から旅行会社の添乗員が追いついてきて、観光客らしき人を見かけなかったか尋ねてきました。集合時間になってもツアー客の一人が帰って来ず、違う道(多分、神明神社へ降りる林道)へ下りて行ってしまったようです。車止めのゲートに通行止めの表示があり、歩行者も通行禁止と勘違いしてもおかしくないと思いました。



麻綿原に広がるアジサイ

満開のアジサイに迎えられ麻綿原に到着しました。杉木立の中でゆっくり昼食を楽しんでから、いざ出発しようとリュックザックを確認すると小さなヤマビルが這っています。気をつけていたつもりでしたが...。気を取り直して、お寺からもらい受けた菖蒲沢に植え付ける菖蒲の兄弟の苗を見てから、今回の主な目的の「麻綿原のアジサイ」を楽しみました。今が盛りで、咲いている花の中を登ると山の斜面一面

に広がるアジサイの花の群落に圧倒されます。手入れが大変でしょう、きれいな花をさかせてくれた妙法生寺に感謝しながら帰路を辿り、事故もなく無事に清澄作業所へ到着しました。

初めての参加で不安もありましたが、皆様のお蔭で有意義な一日を過ごさせていただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

7月度(2) 定期ボランティア活動・報告

～ 高校生のための森と海のゼミナールサポート～

ボランティア 石川 輝雄

7月29日(火)から31日(木)の3日間に千葉演習林と千葉大学海洋バイオシステム研究センターの共同主催で「高校生のための森と海のゼミナール」が行われ、サポート役として石川(輝)(れい)の2名が参加しました。Abiesとしては今回が4度目の参加になります。



昨年、一昨年は台風が来ている時の開催となり、荒天で宿舎やスケジュールの変更など大変でしたが今年は大丈夫でした。

雨の後の霧に差し込む夕日が幻想的な牛蒡沢スギ人工林

今回の参加人数は19名の高校生と特別参加の中学生4名の計23名で、中学生については付き添いの先生が2日目から参加しました。高校生は千葉県7名、東京都10名、神奈川県・埼玉県各1名で、中学生4名は東京都です。昨年に続いての参加という高校生も2名ほどいます。

高校生たちはJR上総亀山駅またはJR安房鴨川駅に13時に集合してから、迎いの演習林のマイクロバスなどで猪ノ川林道を経由して今回のゼミナールのスタート場所の郷台宿舎に向かうことになっています。

私たちは昼前に清澄学生宿舎に集まり、職員の才木さん運転の車で郷台宿舎に向いました。千葉大学海洋バイオシステム研究センターの研究員の安田さんも一緒です。通常ですと郷台宿舎に行くには郷台林道を通るのですが、今は途中が工事中で通れないので、折木沢から猪ノ川林道経由です。

郷台宿舎に到着したあと、私と安田さんは残り、才木さんと石川(れい)はJR上総亀山に高校生たちを迎えにいきました。私は高校生を待つ間、安田さんを郷台宿舎の周りの研究施設を案内しました。

高校生が郷台宿舎に到着して開会式が始まるころ空の様子がおかしくなり、夕立で土砂降り状態になりました。しかし間もなく雨もやみ、雨具なしでも出歩ける状況になったので、高校生はいつものように塩靴下(ヤマビル除けのため、靴下を濃い塩水につけて乾かしたもの)と地下足袋を苦労しながら何とか履いて出発します。当初の計画では山道を登って、モミ・ツガ天然林を見る予定でしたが、雨のあとで足元が良くないので中止となり、

代わりに郷台苗畑(マツノザイセンチュウ抵抗性マツの育成研究などを行っている苗畑)、モウソウチクの開花実験地、相ノ沢スギ品種別成長調査地、郷台裏の森林展望地、ユリノキの大木の切り株など周囲の見学です。森林展望地では雨上がりで山に霧がかかり、低山とは思えない景色を初めて見ることができました。

その後ふたたびマイクロバスに乗って、途中、牛蒡沢スギ人工林(樹齢100年以上、直径1m、高さ50mのスギの美林)の見学、猪ノ川の川原での水生生物の観察、袋山水文試験地などの見学・説明を受けて今日の宿泊地である清澄学生宿舎に到着しました。

夕食・入浴・休息後に「千葉演習林の概要」、「野生生物との共生」の講義を聴き、その後、懐中電灯を持って清澄寺の中をニホンジカの観察に出かけました。途中3か所ほどニホンジカの姿を見ることができたようです。

これで1日目は終了、10時消灯・就眠時間ですが、かなり遅くまで起きていた高校生もいたようです。

翌30日は朝食の後、札郷作業所の近くの郷田倉のスギ人工林にでかけ、材積(木の体積)を調べるためのサンプル採取と毎木調査をしました。演習林の職員に切り倒してもらったスギの木を、ある一定間隔の高さの場所の輪切りをつくり、サンプルとして持ち帰ります。毎木調査として10m四方にあるすべてのスギの木の胸高直径(地上高1.3mのところ)を輪尺(大きいノギス)で測り、樹高をパーテックス(音波反射式のデジタル樹高計)で測ります。その後、清澄宿舎で昼食となりました。

午後はマイクロバスで小湊にある千葉大学海洋バイオシステム研究センターへ行き、「磯の生物の観察」と「海岸の植物植生」の観察です。海は満潮に近く、水が上がっていて途中歩きにくい場所もありましたが、海藻、貝、カニなどを見つけて楽しく観察しました。最後に30cm以上はある大物のアカナマコを見つけた高校生がいました。おいしいそうですが、ここは禁漁区、海にもどしました。



磯に打ち上げられた海藻を先生から教わる高校生

その後、帰りに海岸生物の植生を説明してくれたのは、昨日私が郷台を案内した安田研究員です。

再び清澄宿舎にもどり、講義室で午前中に採取したスギの輪切りのサンプルの材積の資料作りとこれを基にした「森林のCO₂固定能力」の講義をうけます。

夕食・入浴・休憩をして再び講義室で「森林と海洋との関わり」、「ヒメコマツの保全」、

「森林の化学成分」の講義です。「森林の化学成分」は樹木を構成するセルロースやフィトンチッドとよばれる植物の香り成分の講義で、今年から追加された講義です。その後「森林博物資料館」の自由見学があり、2日目のスケジュールは全部終了です。

最終日の31日は朝食後、再び千葉大学海洋バイオシステム研究センターに行き、顕微鏡を使って「海のプランクトン」を実際に観察します。海水をろ過・濃縮したものを顕微鏡で見ますが、なかなか見つけれず、思いのほか海水中のプランクトンの数は少ないことがわかります。

その後、修了式になり、各自に山田林長先生より全員に修了書が渡されました。

昼食を食べ、ここでスケジュールは全部終了し、解散となりました。

朝から夜までいっぱい詰まったスケジュールで高校生たちは大変だったと思いますが、現場主体の内容なので、各自結構楽しんで学んでくれました。

私どもも疲れたとはいえ、いくつか新しい発見があり勉強させてもらいました。

8月度(1)定期ボランティア活動・報告

～夏の森林教室サポート～



川の生き物の観察

ボランティア 石川 れい子

8月9日(土)に親子で川とふれあう小中学生とその保護者が参加する「夏の森林教室」が行われ、26名の親子が参加しました。サポート役として中原、米倉さんと石川夫婦の4名が参加しました。今年のサブテーマは「ちょっとこわい森や川の生き物」です。

参加者は午前10時15分にJR上総亀山駅に集合して、迎いのマイクロバスで札郷作業所に移動するという形な

ので、私たちは札郷作業所に集合して待ちました。その間に札郷に植えてある菖蒲沢のシヨウブの苗をみてきました。順調に根付いています。

開会式の後、全員ヘルメットをかぶり森の観察ということで、北側の山道にとりつき、ニホンジカの食害のある場所とない場所(柵で囲ってある)の植物の生え方の違いやジャケツイバラやサンショウのとげなどちょっとこわい生き物を観察しながら元にもどってきました。

札郷作業所のまわりは見本林になっているので千葉で珍しいイヌブナの大木やネコノチ

チなどがありました。ネコノチチは名前の由来になった実が一面についています。ネコノチチは一般公開のコースの猪ノ川林道沿いにも1本あり、時期が合わないので実をみたことがありませんが、今回初めて実物を見ることができました。



ネコノチチの実

札郷作業所にはマムシ、ヤマカガシヤマカガシ、アオダイショウなどが用意され、毒のないアオダイショウについては実際に子供たちが皆でさわりましたが、少しこわいながら良い体験になったと思います。

ここでお昼を食べてから午後は川の生き物の観察になります。

しかし、このころから雨がポチポチふりだして、雲行きがあやしくなりましたが、なんとかかなりそうなので、濁川と前沢の合流点の川原に行き、網を使ったり、石をかえしたりして川の生き物を探します。サワガニ、ヘビトンボの幼虫、ホトケドジョウなどがみつかります。

最後にみんなで採った生き物を見せ合いましたが、最大の大物はナマズの仲間のギバチ(千葉ではギギという)です。これはうっかり素手でつかむと背びれ、胸びれにのこぎり状のとげがありけがをします。



最大の大物ギバチ

採った生き物は再び川にかえしてから子供たちも含め、今回の感想を発表して解散となりました。

情報・その他

1. 岩崎 Abies 会長 朝日新聞記事掲載

5月22日(木)朝日新聞 ひと・人・ヒトという欄に岩崎会長の紹介記事が掲載され、Abiesの紹介や本人のボランティア活動が紹介されました。

当人の人柄がよくわかる楽しい写真付きです。

2. 演習林の林・歩道の標識杭新規設置の方針打ち合わせ

7月10日(木)に、現在標識杭のない歩道の杭を新規に設置する件についての打ち合わせが天津事務所で行われ、恵さんと石川(輝)が参加しました。

イベントその他で使用頻度が高いところやニホンジカ生息数調査などに使われるところを優先して、新設の候補地を選びましたが、具体的には演習林で下調査を行い方針や候補地を固めてから Abies や NPO 法人野生生物研究会に設置の依頼をすることになりました。

3 . Abies 役員会

8月5日に清澄作業所でおこなわれ、お月見研修の実施内容・その他の打ち合わせをしました。お月見研修は10月に札幌でおこなうことが決まりました。

(内容：後記募集案内を参照ください。)

4 . 東京大学 学内広報 表紙一部写真 掲載

Abies ホームページの写真集にある「郷台林道から見た演習林の山々」の写真が東京大学の学内広報 NO.1375 の表紙の一部となりました。

5 . Abies 通信 訂正

下記項目に誤りがありますので訂正します。

* Abies 通信 18号 9頁 誤：石井秀美さん 正：石井英美さん

* Abies 通信 19号 10頁 誤：片岡富美江 茂原市 正：片岡富美江 市原市

10月度 定期ボランティア活動 お月見研修のご案内

(予定)

～ 歩道巡視ボランティア・自然観察・札幌宿泊研修～

気候の良い時期に会員のなるべく多くの人と一堂に会したいという目的でお月見研修をおこないます。

今年は札幌学生宿舎に宿泊してお月見やバーベキューを行いますので皆様のご参加をお待ちしております。

なお、非会員の人(家族、友人等で原則高校生以上)でも会員の同伴で参加することができますので多くの参加を希望します。

日 時 平成 20 年 10 月 18 日(土)～19 日(日)(宿泊、日帰り参加も可)

コース ・堂沢モミ・ツガ針葉樹天然林
・濁川近郊の観察
・前沢歩道
・郷田倉スギ林
(詳細：後日の下見で決めます。)

宿泊場所 札郷学生宿舎 (TEL. 0439-39-3122)

集 合 10月18日(土) 清澄作業所 13:00
(千葉駅、木更津駅、安房天津駅、安房鴨川駅より送迎も可能ですので事務局に相談ください。)

解 散 10月19日(日) 清澄作業所 13:00頃

参加費 会員 2,500円(施設使用料、18日夕食と19日朝・昼軽食の食費)
非会員 3,000円(保険料500円プラス)

持ち物 飲み物、野外活動ができる服装、懐中電灯、筆記用具、軍手、タオル、雨具、リュック、保険証のコピー、常備薬、マイカップ、会員証、ランタン(持っている人のみ)など。
(今回はスリーピングバックや毛布はいりません。)

雨天時 荒天が予想される場合は中止します。(中止の場合17日の正午までに連絡)

受付期間 10月1日(水)～10月10日(金)

申込方法 電話、FAX、E-mailのいずれかでお申し込み下さい。
非会員については、氏名、性別のほか、会員との間柄、生年月日(保険に必要)を明記して申し込み下さい。

キャンセル 買出しの都合のため2日前までご連絡下さい。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies
事務局 石川 輝雄 宛

=====
千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.20 2008/8/30 発行

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

石川 輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321